令和３年度（2021 年度）第１回
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会　議事概要

日　時：令和３年（2021 年）８月４日（水）13：30～15：00
方　法：Zoom ミーティングを利用したオンライン会議
場　所：北海道庁８階　事業調整課会議室
出席者：別添「出席者名簿」のとおり
次　第：別添「次第」のとおり
議　題：議題１　第４期事業実施計画（令和２年度～令和６年度）について
議題２　令和３年度事業計画（案）及び事業予算について
議題３　地域活動支援事業　令和２年度（2020 年度）事業実績及び令和３年度（2021 年度）活動計画について
議題４　その他
議　事：
（１）議題１　第４期事業実施計画（令和２年度～令和６年度）について
ア　事務局から資料２に基づき説明
イ　質疑応答（有・無）
山本座長）「４．事後評価と対応」は、令和２年度第２回委員会で示された事務局案を委員の意見を元に修正したものということか。
事 務 局）そのとおり。

（２）議題２　令和３年度事業計画（案）について
ア　事務局から資料３に基づき説明
イ　質疑応答（有・無）
山本座長）由仁地区については、昨年度（実践活動２年目）の活動実績はあるのか。
事 務 局）例年どおりではないが、少し活動実績はある。
山本座長）昨年のような活動が難しい年は１年にカウントしないことも検討してもらいたい。

（３）議題３　地域活動支援事業　令和３年度（2021 年度）活動計画について
ア　事務局から資料４に基づき説明
イ　質疑応答（有・無）
［厚床地区］
山本座長）昨年度のアンケート調査の結果はあるのか。
事 務 局）３月の報告会で配布された資料は事務局にもある。
また、今年度アンケート結果をまとめた「厚床プロジェクト通信」を厚

床の住民に対して計３回配布予定。

中山委員）昨年度、今年度とフットパスコースの整備ができていないようだが、来年度以降どうするのか決まっているのか。

事 務 局）簡易的な補修はAB-MOBITで実施している。大学生の力を借りて整備を進める予定であった別当賀の新たなコースは、コロナの影響があるうちは難しいかもしれない。

山本座長）あっとこ農園についても今年度はやらないのか。

事 務 局）コロナ禍であるということと管理をしていくのが難しいということで、今年度は計画されていない。

山本座長）地域交流のツールの１つとしてあっとこ農園をやっていたと思うので、管理が大変だという理由で止めるのは違うのではないか。地域間交流という目標に対して「効果＜手間」ということなのだと思うが、止めた理由については今後の地区への参考のためにも明記した方がよい。

事 務 局）了解した。

［上ノ国地区］

小西委員）キヌサヤを粉末にするという意見は、どこから出たのか。

事 務 局）地元料理店からの提案。

小西委員）この粉末を活用して、料理などに生かしていくことが検討されているということか。

事 務 局）そのとおり。地元料理店や農家でそのように生かせるか検討をしているところ。

小西委員）コロナ禍で思うような活動は難しいと思うが、学校関係の取組は実施できているようなので、子どもたちの反応やさやえんどうへの意見について聞いてみたい。料理教室だけでなく、作文などもやってみてもらいたい。

事 務 局）承知した。

小西委員）熱風乾燥だとさやえんどうの色の良さが出ないので、機械は高価だが、フリーズドライを使用してもらいたい。

山本座長）コロナ禍でもできることはやっている。今年度が最終年なので、子どもたちにアンケート等聞いてみても面白いと思う。

［由仁地区］

中山委員）３年目になるが、支援は終了となるのか。

事 務 局）３年目ではあるが、活動延長の要望があれば延長も検討したい。今後、活動団体に確認する。

山本座長）由仁地区に限った話ではないが、コロナの状況が大きく変わったりした場合に活動計画にないことを行うことは可能なのか。

事 務 局）状況に応じて活動をやってもらうこととしているし、その際に追加の予算要望があった場合は、対応したい。

［オホーツク広域］

山本座長）連携会議は、事務局は持ち回りなのか。

事 務 局）美幌町観光まちづくり協議会が代表的な役割を務めており、会議等開催のとりまとめなどを行っている。

山本座長）北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業（以下、「ふる水事業」という。）の予算には、農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（以下、「農泊推進対策」という。）は入っているのか。

事 務 局）ふる水事業は、基金で事業を実施しており、農泊推進対策は入っていない。

山本座長）オホーツク広域地区の活動は、農泊推進対策のソフト事業に該当するのはないか。活動計画にも協議会が連携して行う活動が記載されているように見えない。ふる水事業で支援をするよりも農泊推進対策に公募する方が適切ではないか。

事 務 局）広域連携の意義は、単独市町村では受け入れられないような大人数の団体を受け入れるためなどがあると考えている。

山本座長）教育旅行の広域連携は空知で実績があるので、そのノウハウを活用すれば、３年間もかからないのではないか。また、教育旅行受入の人数調整は、広域連携の目的でなく、目的を達成するための手段の１つ。

山本座長）各地区で農泊推進対策に公募して、ふる水事業と両方使うことが明記されていれば問題ないと思う。より合致している農泊推進対策に手を挙げないということが引っかかる。

農泊推進対策を使って広域で連携する部分がカバーできないから、その部分についてはふる水事業の予算を使いたいということなら、すごく合っていると思う。

事 務 局）１つ１つの地区で作り上げるものと広域でやっていくものを、目的・予算ともにきっちり住み分けが必要ということか。

山本座長）それができないと、何でもふる水事業の予算でということはおかしいし、それぞれの協議会で農泊推進対策を活用する意志があるのかないのか確認する必要がある。

事 務 局）各団体も農泊推進対策で採択されているが、２年間と限られており、農泊推進対策としての支援は終了している状況。

山本座長）期間を伸ばしたり、改めて公募したりは出来ないのか。

事 務 局）できない。

山本座長）採択されている団体では、ある程度成果が出ているということか。

事 務 局）成果はあると思うが、更にそれを拡大するための連携としてふる水事業を活用するということ。

山本座長）農泊推進対策の成果は、農村設計課を通して農林水産省に上がっているのでは。

事 務 局）国の直接採択なので農村設計課は介されておらず、成果をまとめた資料等は持ち合わせていない。

山本座長）どういった成果があったのか分らないのに、次のステップに進むというのは危ういのでは。成果があった協議会と大して成果を上げなかった協議会が広域化を進めて良いのか。みんなが同じようにやっていて、そこからステップアップということなら良いことだと思うが。

事 務 局）美幌町の声かけで７市町が参画しており、道として強制もしていない。声かけをした美幌町も、美幌町からの声かけに答えた６市町も、２年間取り組んだ結果として広域化が必要だと考えたものだと認識している。

山本座長）結局活動内容が個別でやることに見える。各団体の訪問は各団体でやれば良いし、広域化の取組でやらなきゃいけない理由がない。

山本座長）組織だけで地域が見えてこない。美幌の人に会って話が聞いてみたい。確認していただいて美幌に。委員からは組織の活動は見えるけど、地域の顔が見えない。どうしたいのかもう少し詳しく教えてくれと。

事 務 局）意見交換会という形で準備を進める。

山本座長）オンラインでも良いので聞いてみたい。

［本別地区］

小西委員）色々と活動計画に書かれているが、全て実施できる見込みなのか。

事 務 局）現状、計画を中止したという報告はないが、先進地視察や交流イベントなどは状況によっては難しいと思われる。

山本座長）本別地区はオンラインを積極的に活用していくのか。

事 務 局）谷口指導員が札幌在住ということもあり、できることはオンラインでやっていくと思う。

山本座長）オンライン活用についてはフォローしておいた方がよい。他地区の参考事例になることも考えられる。

事 務 局）谷口指導員は、札幌市円山で本別町産の豆を使用した豆料理専門店を８月 12 日にオープンする予定。

山本座長）本別町のアンテナショップ的な機能も持つことを期待したい。